

ぴあ・いろは通信



○放課後等デイサービス 放課後クラブぴあ

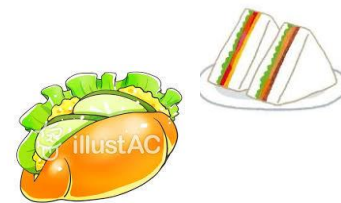
○児童発達支援 療育ルームいろは

《お問い合わせ》TEL 33-4860

寒さが一番厳しい時期を【椿さんの頃が一番寒い】と愛媛県の人と言ったりします。確かに大寒を過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いていますね。インフルエンザの流行も心配するところです。お家の方も含め、体調の変化には十分ご注意ください。

2月行事のご報告

2月3日から7日まで、ぴあいろはではサンドイッチづくりを行いました。いろはでは、クッキー型を使って、チーズやハムの型をぬき、パンにはさんで食べました。小麦粉粘土遊びで型ぬきを経験している子が多く、好きな型を選んで自発的に型ぬきを楽しみました。ぴあでは、ロールパンに具材を選んではさみました。サンドイッチは火を使わずに調理でき、食事にもおやつにもなります。お子さんの好きな具材を準備し、簡単な手順書があれば、自立的に調理し、食べることができます。休日の朝食や昼食に、サンドイッチ作りの機会を設けてみてはいかがでしょうか？



職員研修報告⑥《働く》

支援を受けながら働く大人になるためにそれぞれの時期に必要なポイント

《学齢期》

- ・視覚的支援を使用しながら一人でできることの開発
指示や監督がなくても視覚的な指示に従って一人で課題を遂行することができる
- ・自分でしようという心を育てる
- ・表現性コミュニケーション（機能をさらに広げて、いつでもどこでもだれとでも、ある程度のコミュニケーションを行う）
- ・終了概念の確立
「おわりました」と報告することができる
- ・家事、身辺自立（より自立的な、将来必要なスキルを見据えて）
- ・スケジュールを自発的に活用できる。
1日の流れ、1か月の流れなど
- ・言語理解（指示理解も含む）
- ・職業行動・職業技能（行動統制・教科学習も含む）
訂正、指示、指導、助言を受け入れられる



課題の精選を行い、場所の般化を行う
その子に適したワークシステムを使用する

- ・ソーシャルスキル
- ・余暇活動の充実（通年できる余暇の獲得、全天候型の余暇の獲得）
- ・年齢に応じた適切な対人関係（同年代だけでなく）
- ・金銭感覚



ゆいねっと Study 倶楽部

2月3日（月）のゆいねっと Study 倶楽部は、『自立課題の作成をしよう』でした。自宅でお子さんにしてもらうための自立課題を作りました。年齢や興味に合わせて、プットインや分類、パッケージングやお金の封入など、かごの中で作業しやすいように工夫しながら作っていました。和気あいあいとおしゃべりもしながら、楽しく作業しました。作った課題は持ち帰っていただきました。

今回は3月2日（月）です。『座談会～連携について～』です。進級、進学に向けて学校と情報交換したほうが良いこと、福祉サービスに頼みたい配慮や支援についてなど、お子さんに安心して過ごしてもらうための連携について話し合ひましょう。また、ゆいねっと新居浜法人マネージャーの明智より、今までの子育てから学んだことや、成人になった息子さんの今の生活などについて、ライフステージに合わせた支援の大切さや継続の重要性についてお話をいただきます。貴重なお話が聞けるよい機会です。ぜひ、お越してください。



【 今後の予定 】

3月 2日（月）10:00～11:30『座談会～新学期に向けた連携～』

4月 13日（月）10:00～12:00『講演会～自閉症の特性と支援について～』

★詳しくは、ホームページにも記載しています。ご覧ください。

★ぴあ・いろは事業所内を見学希望の方は、職員に申し出てください。見学できる日時を調整させていただきます。また、使用している教材についての質問もお受けいたします。お気軽にお声かけください。

★ゆいねっと新居浜 HP 内「BLOG」にて、ぴあ・いろはでの活動の様子を更新中です。令和2年3月号をもって郵送での配信を終了いたします。ぴあ・いろは入り口とホームページにぴあいろは通信・ブログ原稿を掲示しています。ぜひ、ご覧ください！！

<http://yui-net-niihama.com/>

